文教福祉常任委員会

平成28年3月16日（水曜日）

文教福祉常任委員会

平成28年3月16日（水曜日）

付議事件

《付託議案》

- 議案第 1 号 平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項
- 議案第 2 号 平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について
- 議案第 3 号 平成28年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について
- 議案第 4 号 平成28年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について
- 議案第 9 号 平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項
- 議案第10号 平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第32号 旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第33号 旭市出産祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第34号 旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第35号 旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第37号 旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第38号 旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第41号 旭市学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について

出席委員（8名）

委員長	伊藤 房代	副委員長	林 晴道
委員	林 正一郎	委員	高橋 利彦
委員	林 俊介	委員	佐久間 茂樹
委員	木内 欽市	委員	景山 岩三郎

欠席委員（なし）

委員外出席者（3名）

議長 平野 忠作
議員 高橋 秀典

副議長 島田 和雄

説明のため出席した者（28名）

教育長 彦田 哲雄
環境課長 浪川 昭
健康管理課長 加瀬 幸重
子育て支援課長 大矢 淳
病院事務部長 飯塚 正志
学校教育課長 石見 孝男
体育振興課長 加瀬 英志
病院総務課長 河北 隆
その他担当職員 12名

税務課長 林 利夫
保険年金課長 渡邊 満
社会福祉課長 加瀬 恭史
高齢者福祉課長 宮内 隆
庶務課長 角田 和夫
生涯学習課長 高木 昭治
病院経理課長 土師 学
病院医事課長 片見 武寿

事務局職員出席者

事務局長 阿曾 博通
副主幹 榎澤 茂

事務局次長 高安 一範

開会 午前10時 0分

○委員長（伊藤房代） おはようございます。

大変お忙しい中、ご苦勞さまでございます。委員の皆様には、大変お世話になっております。きょうはどうぞよろしくお願ひいたします。

ここで、委員会を開会する前にあらかじめご了承願ひます。

議会だより取材のため、この後、職員が委員会室内の写真撮影を行いますのでご了承願ひます。

ただいまの出席委員は8名、委員会は成立いたしました。

それでは、文教福祉常任委員会を開会いたします。

なお、島田和雄副議長、高橋秀典議員より、本委員会を傍聴したい旨の申し出があり、これを許可しましたので、ご了解をお願ひいたします。

本日、平野議長にご出席をいただいておりますのでご挨拶をお願ひいたします。

○議長（平野忠作） おはようございます。委員の皆さん、大変ご苦勞さまでございます。

本日は、付託いたしました議案、13議案について審査をしていただくことになっております。

どうか、慎重なるご審査のほどをお願ひ申し上げまして、簡単ではございますけれども挨拶に代えさせていただきます。

伊藤委員長、よろしくお願ひいたします。

○委員長（伊藤房代） ありがとうございます。

議案等説明のため、教育長、担当課長及び職員の出席を求めました。

それでは、執行部を代表して冨田教育長よりご挨拶をお願ひいたします。

○教育長（冨田哲雄） おはようございます。

本日は、文教福祉常任委員会の開催に当たりまして、執行部関係各課を代表しご挨拶を申し上げます。

日ごろより、委員の皆様には多方面にわたりご指導、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

暖冬と言われてはいますが、3月に入りましても天候不順で気温もなかなか上がりず、いま一步状態かなというふうに思っているところでございます。そんな中、きのう中学校5校

の卒業式がとり行われました。そして、18日金曜日には小学校の卒業式、また4月には小学校、中学校の入学式が予定されていますので、公私ともご多忙とは存じますが、ご臨席の上子どもたちへ祝福いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、本日の委員会に審議をお願いいたします議案は、全部で13議案でございます。

まず、当初予算が、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち所管事項をはじめとする4議案、補正予算が、議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち所管事項と、議案第10号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決についての2議案でございます。

それと条例関係が、議案第32号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第33号、旭市出産祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について、議案第34号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第35号、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第37号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第38号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についての6議案が条例の一部改正でございます。

さらに、条例の廃止といたしまして、議案第41号、旭市学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定についての1議案でございます。

執行部といたしましては、委員の皆様方からのご質問に対しまして、簡潔、明瞭に答弁するよう努めてまいりますので、何とぞ全議案可決くださいますようお願い申し上げましてご挨拶といたします。それではどうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） ありがとうございました。

議案の説明、質疑

○委員長（伊藤房代） ただいまから、本委員会に付託されました議案の審査を行います。

去る3月4日の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案は、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第2号、平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について、議案第3号、平成28年度旭

市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、議案第4号、平成28年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管について、議案第10号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について、議案第32号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第33号、旭市出産祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について、議案第34号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第35号、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第37号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第38号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第41号、旭市学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定についての13議案であります。

初めに、議案第1号中の所管事項について担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長（加瀬恭史） それでは、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち補足説明を申し上げます。

社会福祉課所管事業のうち主な事業について説明いたします。

初めに、歳出からご説明いたします。

予算書の96ページをお願いいたします。

3款1項1目社会福祉総務費、説明欄11、臨時福祉給付金給付事業7,951万9,000円は、給付金及び事務費の総額です。

平成28年度の市民税の均等割非課税者で65歳未満の障害基礎年金及び遺族基礎年金の受給者には、1人当たり3万円が給付されます。対象者は900人を見込みまして、給付金の支給額は2,700万円となります。

さらに、前年度同様、平成28年度の市民税均等割非課税者につきまして、1人当たり3,000円が支給されます。

対象者を1万2,000人を見込みまして、給付金の支給額は3,600万円となります。

説明欄11の19節臨時福祉給付金の支給総額は6,300万円となります。

予算書の100ページをお願いいたします。

3款1項2目障害者福祉費、説明欄10の地域生活支援事業1億486万円は、障害者総合支援法に基づきまして、障害者の皆さんが地域において自立して日常生活が送れるよう、相談支援や創作活動の機会の提供等、さまざまな事業を実施するものであります。

続きまして、予算書の123ページをお願いいたします。

3款4項2目、説明欄1、生活保護扶助費8億2,339万5,000円は、平成28年度の年間保護世帯数を406世帯、保護人員を472人と見込み計上したものでございます。

続きまして、歳入の主な部分についてご説明いたします。

戻っていただきまして、予算書の22ページをお願いいたします。

13款1項1目4節生活保護費国庫負担金、説明欄1、生活保護費負担金6億1,754万6,000円は生活保護扶助費の国庫負担分であります。

次に、23ページになります。

2項2目1節社会福祉費国庫補助金、説明欄1、地域生活支援事業費等補助金4,475万9,000円は、障害福祉費の地域生活支援事業の国庫補助金であります。

また、説明欄3、臨時福祉給付金給付事業費補助金3,600万円及び説明欄4、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金2,700万円につきましては、全額補助対象となります国庫補助金であります。

予算書の36ページをお願いいたします。

19款5項3目1節過年度収入、説明欄1、生活保護法第73条分1,650万円は、生活保護法第73条において市内に住所がない、または明らかでない者への市が支出した分でありまして、これについては県が負担することになっております。この収入は、平成27年度の県が負担すべき給付費を28年度に受け入れることから過年度収入になるものであります。

以上で、議案第1号、社会福祉課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） それでは、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち保険年金課所管の補足説明を申し上げます。

予算書の22ページをお開きください。

歳入になります。

13款1項1目民生費国庫負担金の1節社会福祉費国庫負担金の説明欄4になります。保険基盤安定負担金9,355万5,000円は、保険者支援分として一般会計繰出金の2分の1の額であります。

25ページをお願いいたします。

3項2目民生費委託金の1節社会福祉費委託金の説明欄になります。国民年金事務費交付金2,067万4,000円は、国民年金事務に要した人件費等の経費に係る交付金であります。

14款1項1目民生費県負担金の1節社会福祉費県負担金の説明欄3になりますが、保険基盤安定負担金2億8,974万4,000円は、保険税軽減分としての一般会計繰出金の4分の3の額及び保険者支援分としての一般会計繰出金の4分の1の額であります。

2節老人福祉費県負担金の説明欄1になりますが、後期高齢者医療保険基盤安定負担金1億2,005万4,000円は、後期高齢者医療に係る保険料軽減分としての一般会計繰出金の4分の3の額であります。

次に、35ページをお願いいたします。下から2段目になります。

19款諸収入の4項1目1節、説明欄1、後期高齢者医療広域連合受託事業収入84万7,000円は、28年度から始まる歯科健診に係る電算システム改修費及び人間ドック費用のうち、健康診査該当部分の受託事業収入であります。

次に、37ページをお願いいたします。

5項5目1節雑入の説明欄の28になります。後期高齢者医療制度長寿・健康増進事業補助金225万5,000円は、後期高齢者短期人間ドック助成事業及びはり・きゅう・マッサージ等利用助成事業に係る千葉県後期高齢者医療広域連合からの補助金であります。

続きまして、歳出について申し上げます。

103ページをお願いいたします。

3款民生費の1項4目国民健康保険費の説明欄2、国民健康保険事業特別会計繰出金8億6,580万円ですが、次ページの国保保険基盤安定保険税軽減分繰出金から国保財政安定化支援事業繰出金まではルール分として事業勘定へ、国民健康保険特別会計繰出金（施設勘定）は、滝郷診療所運営に係る地方交付税算入分として施設勘定へ、国保その他繰出金は、保険税率抑制のために事業勘定へ繰り出すものであります。

107ページをお願いいたします。

2項2目後期高齢者医療費、説明欄2、広域連合負担金4億9,514万3,000円は、千葉県後期高齢者医療広域連合における関連経費と後期高齢者に係る療養費のうち、旭市の負担分を計上するものでございます。

説明欄3、後期高齢者医療特別会計繰出金1億7,340万8,000円は、一般会計から後期高齢者医療特別会計への事務費と保険料軽減分に係る繰出金であります。

説明欄4、後期高齢者短期人間ドック助成事業237万円は、国民健康保険と同様に短期人間ドック受検費用の70%、3万円限度に助成するもので受検者は80名を予定しております。

以上で、議案第1号、保険年金課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） それでは、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち、高齢者福祉課所管の補足説明を申し上げます。

予算書の105ページをお願いいたします。

歳出になります。

3款民生費、2項1目老人福祉総務費の説明欄3の老人保護扶助費6,352万3,000円は、経済的な理由等により自宅における生活が困難な低所得者の高齢者を養護老人ホームへ措置するための費用で、30人分の費用を見込みました。

これに関連します歳入ですが、18ページへ戻っていただきたいと思います。

11款分担金及び負担金、1項1目民生費負担金、1節老人福祉費負担金の説明欄1、老人施設入所者負担金の646万5,000円は、措置された方々にも収入に応じて負担をしていただくということで歳入として計上するものでございます。

恐れ入りますが、歳出に移り107ページをお願いいたします。

2項3目生活支援費の説明欄1の地域包括支援センター運営事業ですが、108ページに移りまして、13委託料の374万円は要支援1及び2に該当する方々のケアプラン作成委託料で、作成件数を全体で1,197件と見込み、そのうちここでは839件分を計上するものでございます。

要支援1及び2のケアプランの作成につきましては、地域包括支援センターの職員だけでは全てを作成することが困難なことから、居宅介護支援事業所に一部の作成を委託するものでございます。

恐れ入りますが、また歳入に戻りまして36ページをお願いいたします。

36ページの雑入の説明欄17に介護予防サービス計画費収入として、全体のケアプラン作成料といたしまして533万円を計上いたしました。これは先ほど説明いたしました107ページの地域包括支援センター運営事業396万5,000円の財源となっております。

なお、介護予防サービス計画費収入と地域包括支援センター運営事業との差額136万5,000円につきましては、老人福祉関係職員給与費へ充当するものでございます。

恐れ入りますが、歳出の108ページをお願いいたします。

説明欄3、緊急通報体制等整備事業の13委託料の781万円は、ひとり暮らし高齢者等の日

常生活における緊急時の連絡を活用するため緊急通報装置を設置するものでございます。今年度は設置台数を219台と見込みました。

説明欄4の家族介護支援事業の644万円は、要介護4または5と認定され、寝たきりで日常生活全般において介護を要する方と同居して介護している家族に支給するものでございまして、対象者を61人と見込みました。

以上で、高齢者福祉課所管の補足説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決について、子育て支援課から何点か補足説明をさせていただきます。

初めに、歳出から申し上げます。

予算書の110ページをお開きください。

3款3項1目児童福祉総務費の7億4,677万6,000円は、前年度と比較し2億3,580万4,000円、46.1%の増加となっております。主な理由といたしましては、主要事業でも申し上げましたとおり、子ども医療費助成事業の増加、出産祝金支給事業の拡充、認定こども園施設型給付型事業が新規に加わったことによるものです。

続きまして、予算書の116ページをお願いいたします。

2目母子父子福祉費の2億8,289万9,000円は、前年度比1,019万1,000円、3.7%の増加となっております。主な理由としましては、同じページの説明欄2、児童扶養手当給付事業において受給者が増加傾向にあることと、国において支給額の増額が予定されていることから、前年度比1,005万9,000円増を見込んでいることによるものです。

続きまして、予算書の117ページをお願いいたします。

3目児童措置費の10億4,859万6,000円は、前年度比1,029万7,000円、1.0%の増加となっております。こちらは児童手当の給付に係る費用でございます。児童手当は、児童数の減少によりまして減少傾向にありますが、平成28年度は旭中央病院の独立行政法人化に伴い受給者が増加するため給付額が増加するものです。中央病院の職員は、今までは公務員として旭中央病院から受給していましたが、独法化により一般の会社員と同様に4月からは市が支給することとなり、受給者が増加するものです。

続きまして、予算書の119ページをお願いいたします。

6目保育所費の15億7,308万3,000円は、前年度比6,690万9,000円、4.4%の増加となっております。この主な理由といたしましては、122ページ、説明欄5、民間認可保育所運営費

給付事業について、子ども・子育て支援新制度により保育の質の改善などのために保育に要する費用の基準が増額となったためでございます。

続きまして、歳入についてご説明いたします。

22ページをお開きください。

13款1項1目3節児童福祉費国庫負担金、説明欄5、子どものための教育・保育給付費負担金2億2,119万4,000円は、民間認可保育所と認定こども園の施設型給付費に対する国の負担金です。民間認可保育所5施設で1億5,827万3,000円、認定こども園2施設で6,292万1,000円を見込んでおります。

続きまして、26ページをお開きください。

14款1項1目3節児童福祉費県負担金、説明欄4、子どものための教育・保育給付費負担金1億2,682万1,000円は、民間認可保育所と認定こども園の施設型給付費に対する県の負担金です。民間認可保育所5施設で7,913万6,000円、認定こども園2施設で4,768万5,000円を見込んでおります。

以上で、議案第1号、子育て支援課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 健康管理課長。

○健康管理課長（加瀬幸重） 議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち、健康管理課所管の補足説明を申し上げます。

予算書133ページをお願いいたします。

歳出になります。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費の説明欄4、がん検診事業8,600万2,000円は、健康増進法に基づく各種がん検診に係る予算を計上してございます。

がん検診の実施方法といたしましては、胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん検診は各保健センターにおいて集団検診で実施いたします。

また、大腸がん検診と前立腺がん検診は、市内の医療機関で検査していただく個別受診と各保健センターにおいて国保の特定健診と併せて行う集団検診の2つの方法で実施いたします。

続いて、134ページの中段からになります。ご覧ください。

同じく4款1項2目、説明欄5、感染症予防対策事業の1億3,993万9,000円は、予防接種法に基づく子どもと高齢者を対象とした各種予防接種に係る予算を計上してございます。

子どもの予防接種は全部で9種類ございまして、ほとんどの接種が医療機関で行う個別接

種で行っておりますが、BCGと二種混合については集団接種で実施しております。

また、高齢者の予防接種は、インフルエンザと肺炎球菌の2種類で、全て個別接種で実施しております。

次に、136ページをお願いいたします。

4款1項3目母子保健費の説明欄1、妊婦・乳幼児健康診査事業でございますが、5,237万6,000円を計上してございます。4か月、1歳6か月及び3歳の乳幼児を対象とする集団健診と2歳児を対象とする集団の歯科健診に係る費用、そして医療機関等で行う妊婦・乳児の健康診査費用の助成金を計上してございます。

以上で、議案第1号、健康管理課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 環境課長。

○環境課長（浪川 昭） それでは、環境課所管の事業のうち、全員協議会のほうで主要事業として説明をさせていただきました事業以外のその他の事業につきまして2点補足説明をさせていただきます。

予算書のほう、141ページをお願いいたします。

4款1項4目環境衛生費の説明欄5、合併処理浄化槽設置促進事業3,233万2,000円につきましては、生活排水による公共用水域の水質保全を図るため、合併処理浄化槽を設置する方に対し補助金を交付するものであります。事業の内訳といたしましては、合併処理浄化槽設置事業補助金が1,755万2,000円で、通常型の浄化槽の設置補助として46基分でございます。

その下でございます合併処理浄化槽転換事業補助金788万円は、単独浄化槽またはくみ取り槽から合併処理浄化槽に転換した方に対し上乗せ分として補助するもので、同じく46基分になります。

その下でございます被災地浄化槽復旧支援事業助成金690万円は、東日本大震災により被災した住宅の建て替えに伴いまして、くみ取り槽から合併処理浄化槽へ転換した方に対し助成金を交付するもので、こちらは期限が今年度末、平成27年度までとなっておりますが、期間を1年間延長しまして、平成28年度まで支援を行うものでございます。

事業費の内訳といたしましては、1基当たりの上限が30万円で23基分であります。

続きまして、145ページのほうをお願いいたします。

4款1項5目公害対策費の説明欄4、住宅用省エネルギー設備設置助成事業1,040万円の事業内容につきましては、自ら居住する住宅に住宅用省エネルギー設備を設置する所有者に補助金を交付するものであります。

この事業につきましても、助成期限が平成27年度までとなっておりますが、これを3年間延長しまして、平成30年度まで助成を行うものであります。

事業費の内訳といたしましては、太陽光発電システムが1件当たりの上限が10万円で80件、家庭用燃料電池システムが1件当たり10万円で7件、定置用リチウムイオン蓄電システムが1件当たり10万円で15件、エネルギー管理システムが1件当たり1万円で15件、電気自動車充電設備が1件当たり5万円で1件でございます。

以上で、議案第1号、環境課所管事業の補足説明を終了させていただきます。よろしくお願いたします。

○委員長（伊藤房代） 庶務課長。

○庶務課長（角田和夫） 議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決について、庶務課所管の事業のうち全員協議会で説明させていただいた主要事業以外のその他の事業について何点か補足説明を申し上げます。

予算書の229ページをお開きください。

歳出になります。

10款2項1目学校管理費、説明欄1の小学校施設管理費は1億5,553万2,000円で、小学校15校に係る施設の運営費用と維持管理費であり、内訳は説明欄記載のとおりとなります。

予算書の231ページをお開きください。

説明欄3の小学校施設改修事業は6,372万9,000円で、小学校15校に係る老朽化及び危険箇所等の維持補修費と改修工事の経費であります。

15節工事請負費4,640万円の大きなものとしましては、鶴巻小学校と富浦小学校の高圧受電設備改修工事、キュービクル改修の経費であります。

予算書の235ページをお開きください。

10款3項1目学校管理費、説明欄1の中学校施設管理費は7,640万9,000円で、中学校5校に係る施設の運営費用と維持管理費であり、内訳は説明欄記載のとおりとなります。

予算書の237ページをお開きください。

説明欄3の中学校施設改修事業は944万円で、中学校5校に係る老朽化及び危険箇所等の維持補修費や改修工事の経費であります。

以上で、議案第1号、庶務課所管の補足説明を終わります。

○学校教育課長（石見孝男） それでは、議案第1号のうち学校教育課所管分につきまして、主要事業以外のその他の事業で補足説明を申し上げます。

予算書の234ページをお開きください。

歳出になります。

10款2項2目、説明欄9の小学校図書館司書配置事業についてご説明申し上げます。

本事業は、これまで小学校教育振興費に含まれていたものでございますけれども、教育支援の体制として分かりやすくするために事業名を小学校図書館司書配置事業として予算計上したものでございます。事業費は804万3,000円、主な費用でございますけれども、図書館司書3名分の社会保険料などの共済費114万6,000円、賃金687万5,000円でございます。

事業内容でございますが、図書館司書等の資格者3名を1人当たり5校割り当てまして、市内の各小学校へ週1回程度巡回配置しております。

業務でございますが、蔵書整備や管理、児童への本の広報活動としての読み聞かせ、ブックトーク、新規購入図書のアドバイスなどがございます。また、授業に役立つ資料などを集めるために授業に参加するなどさまざまな業務を行っているところでございます。

次に、予算書の241ページをお開きください。

10款3項2目、説明欄10の中学校図書館司書配置事業についてご説明申し上げます。

本事業につきましても、小学校と同様に、これまで中学校教育振興費に含まれていたものを、事業名を中学校図書館司書配置事業として予算計上したものでございます。事業費は275万円でございます。

事業内容につきましては、小学校図書館司書等の業務とほぼ同様でございます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

以上で、議案第1号につきまして、学校教育課所管の主要事業以外の補足説明を終わりにさせていただきます。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） それでは、議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち生涯学習課所管分について補足説明を申し上げます。

予算書の248ページをお開きください。

2目文化振興費、説明欄2の文化振興事業1,577万2,000円ですが、本年度の主な事業内容としましては、市民参加型事業として市民音楽祭やあさひのまつり、また舞台芸術の勸奨としては、あさひ寄席やNHKの公開番組など合わせて10事業を予定しております。

また、249ページになりますけれども、文化振興事業の19節負担金補助及び交付金のうち文化施設使用助成金100万円ですが、これは東総文化会館を使用した場合の助成金でありま

す。この助成金は文化振興基金を財源としておりますが、平成28年度末には底をつく状況でありますので、助成金の内容につきまして検討を重ねた結果、関係団体のご理解もいただきまして、平成28年度から助成率や助成額の上限を見直すことといたしました。

3月1日発行の広報あさひ、そしてホームページでも周知したところでございますけれども、助成率は現在の使用料の2分の1から3分の1に、助成額の上限は大ホールで10万円から7万円に、小ホールでは4万5,000円から3万円に変更するものであります。

なお、変更に伴いまして予算額も平成27年度から30万円ほど減額したところであります。

続きまして、予算書の266ページ、267ページになります。

11目大原幽学記念館費、説明欄4の大原幽学遺跡史跡公園管理費1,388万3,000円のうち13節委託料でございますけれども、通常行っております公園維持管理委託料のほかに史跡の保存活用計画策定のために必要な測量業務委託料が583万2,000円であります。主な内容といたしましては、航空レーザー測量であります。

なお、保存活用計画につきましては、遺跡史跡公園として貴重な歴史的景観と文化財住宅を保護・保存、整備して後世に適切に継承していく必要があるために策定するものであります。

なお、計画の策定に当たりまして、昨年2月から策定委員会を開催し、策定作業を進めているところでございますけれども、この策定につきましては国の補助事業によりまして、平成28年度、29年度の2か年を予定しているところであります。

以上で、議案第1号、生涯学習課所管分の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 体育振興課長。

○体育振興課長（加瀬英志） 議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち、体育振興課所管の事業で全員協議会で事業として説明しなかった点について補足説明いたします。

予算書269ページをお願いします。

10款5項1目の保健体育総務費の説明欄2、スポーツ振興事業になります。事業費は2,231万4,000円となります。主なものは19節負担金補助及び交付金2,196万円で、次ページ、270ページの一番上までの14件の事業となります。これらは市民の一体感の醸成や健康づくりを推進するためのスポーツイベントの開催や各種団体に補助金の交付を行うものです。

以上で、体育振興課からの補足説明を終わります。よろしくをお願いします。

○委員長（伊藤房代） 担当課の説明は終わりました。

議案第1号について質疑がありましたらお願いいたします。

木内欽市委員。

○委員（木内欽市） 123ページの生活保護扶助費なんですけれども、件数で406世帯、これだんだん増えていると思うんですが、大ざっぱで結構ですが、どのぐらいの率で増えているんですか。

○委員長（伊藤房代） 社会福祉課長。

○社会福祉課長（加瀬恭史） 最近の傾向で言いますと、今年はちょっと高どまりというかなかったんですが、ここ数年、二、三年前までは約40件ぐらいずつ増えているという傾向でございました。

以上でございます。

○委員（木内欽市） たしか前は全部で2万5,000世帯ぐらいですから、100世帯に1件ぐらいだったと記憶しているんですが、今これだともう60世帯に1件ぐらいの割になるんですかね、割り返すと。いや、いいんですがね。あんまり細かいことを聞いちゃうと個人の保護のあれで問題があると思いますが、大ざっぱにその額で見て、旧旭地区が多いとか分かりますかね。分からなければいいんですが、分かりますか。

というのは、よく大阪市でしたっけ、いっぱい受け入れちゃって、そこは20件に1件ぐらい生活保護世帯の市があるとかとあるんで、よそからそれが入って、アパートとか入っている人が多いのかなと、それをちょっと聞きたいんで。分かりますかね。

○委員長（伊藤房代） 木内欽市委員の質疑に対し、答弁を求めます。

社会福祉課長。

○社会福祉課長（加瀬恭史） 地区的にといいますとちょっと傾向見づらいなんですけれども、一般的には住宅といいますか、その確保が大変ですので、低家賃の住宅の多い地域、いわゆる市営住宅ですとか、公のものでもちょっと低額の家賃のところへ集中するという傾向がございます。

また、そこにいらっしゃる方からの申請が多いというようなことで、大ざっぱに言いますとそういった傾向がございます。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

○委員（高橋利彦） それでは、107ページですか、後期高齢者短期人間ドック助成事業、先ほどこれは80人を予定しているということなんですけど、この日帰りとは1泊ですか、どうなっているのか。それから、この人間ドックの対象者は国民健康保険ですか、この方々が対象と

ということになると思うんですが対象者は何人ぐらいいるのか。

それからあと133ページ、がん検診事業なんですけど、このがん検診で胃がんの検査もやると思うんですが、バリウムではなかなかがんを検知するのができないということなんですけど、そういう中でこれはどういうふうに考えているのか。

それからあと267ページ、大原幽学の関係なんですけど、267ページの18の備品購入、車両購入費ですか、11万円というのは何なのか。車こんなに安く買えるのかどうかね。

それからあと中学校の大規模改造事業ですか、これにおきまして一中とそれから干潟中学をやるということですが、そんな中でエレベーターを設置することになっています。このエレベーターの設置の目的は何なのか。それから、それぞれの学校にエレベーターがついていると思いますが、このエレベーターの設置の基準ですね、設置基準。それから現在エレベーターは何校ついているのか。

それからあとは、当然エレベーターをつけますと維持管理費もかかるわけですが、行革との整合性はどういうふうに考えているのか。それからまた、海上支所にエレベーターついてますね。それで支所についていて、あそこには職員は使用しないでくださいということをしたしか書いてあるんですよ。そういう中でふだん設置してある学校についてはどういうふうにエレベーターを使わせているのか、その点をお尋ねします。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 後期高齢者に係ります人間ドックの状況ですけれども、80名ということで予定しております。これは平成27年度と同じ数を見込んでいるというような状況で、ただ先ほど国保のほうという話ですけれども、国保はまた別で、これは後期高齢者、75歳以上の方の人間ドックと。

平成26年度の数値で申し上げますと、後期高齢者の対象者数ですけれども、9,151人のうち26年度では58名ということで受診率でございます。

あと、日帰り1泊の数ですけれども、58名のうち日帰りが28名、1泊が30名と、そのような状況になっております。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 健康管理課長。

○健康管理課長（加瀬幸重） それでは、133ページのがん検診についてのご質問で、現在

バリウムでの検診方法になっております。これは国の指針に基づいて実施しているもので、また新たな指針の中ではやはり胃カメラという方向性も出ているところなんです、現在のところバリウムで実施しております。また、将来的には胃カメラでの実施というのにも検討していくことになろうかと思いますが、現段階では胃カメラとなりますと集団で行うのは大変困難なことでもあります。またそれを個別検診でというようなこともありますので、今後また検討していくことになろうかと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） それでは、予算書の267ページ、説明欄18節の備品購入費であります。

これにつきましては、公園の維持管理のためのアルミ製の折り畳み式のリヤカーを購入する予定であります。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 庶務課長。

○庶務課長（角田和夫） 庶務課から一中のエレベーターの件について質問がありましたので。

エレベーターの設置の目的ということで、これについては障害のある児童・生徒も健常者の子どもたちと同じように学校生活を送られるよう、学校施設のバリアフリー化に努めております。そういう目的で設置のほうを計画しております。

あと、2番目の設置の基準はどうしているかということで、これまで改築に併せて設置しました。海上中、旭二中、中央小、そして今度の飯岡中ということで改築に併せてこれまでは設置をしてきました。

3番目のエレベーターが何校についているかということで、今ちょっとお話ししましたように二中、海上中、飯岡中、中央小の4校に設置されております。

あと、維持管理費については行革との絡みがどうなっているかということなんですけれども、エレベーターについては法律等で保守点検とか維持管理が定められておりますので、それは法律にのっとって設置しておりますので必要最小限の維持管理が必要ということで考えております。

あと、5番目のどういうふうにエレベーターを使っているかということですけれども、車椅子で学校に通っている子どもがいる学校についてはその子どもたちが使っております。あと学校給食等で重い食材を運ぶときにはエレベーターを使ったりしております。また、けが等で必要なときには使ったりしております。あと荷物、先生方のいろんな教材で重い荷物を運ぶときにも使っております、そういうふうな形で利用のほうはしております。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） そうしますと、先ほどのがん検診の関係ですが、バリウムではなかなか掌握できないという中で、できたら胃カメラを取り入れるような方針に早くしてもらいたいと思います。

それから次に、大原幽学、車両とありましたもので私もこんな安いのあるかなと思ったんですが、分かりました。そんな中で古文書等の関係なんです、これにはかなりいろんな問題がありまして維持管理費というのはかかるわけなんです、そこで今大原幽学の古文書等、どのくらい収容力があるのか、そんな中で何割くらい今入っているのか。

それから次に、中学校の大規模改築の問題でございますが、今回一中は障害者が対象にいるということでございます。目的はそういうことで分かりました。

それで、改築に併せてやっているということでございますが、その設置基準は、ただ改築のみなのか、全然設置基準というものはないのか。それでないと公平性がとれないと思うんですよ。そういう中で設置基準というものはないのか。

それから、行革との絡みで先ほど適当な妥当な維持管理費ということでございますが、じゃ今設置してある各学校ですか、エレベーターの維持管理費はどのぐらいになっているのか。

それからふだんはどういうふうに使っているのかといいますと、特殊な場合のみで、一般の生徒にはふだんはどういうふうに使わせているのか。その辺再度お尋ねします。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

健康管理課長。

○健康管理課長（加瀬幸重） それでは、胃カメラの検診方法をなるべく早く取り入れていただきたいというお話ですが、市のほうでも予算、実施方法について今後検討を進めてまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） 大原幽学記念館におけます収蔵庫の収容能力ということでございます。ここの部分につきましては、収蔵庫が121平米ございまして、現在ほぼそれらを使っている状況であります。

以上であります。

○委員長（伊藤房代） 議案の審査の途中でございますが、ここで11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前10時59分

再開 午前11時15分

○委員長（伊藤房代） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の審査を行います。

高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

庶務課長。

○庶務課長（角田和夫） エレベーターの設置基準はということについてお答えいたします。

通称ハートビル法、正式には、高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律が一部改正され、学校施設がバリアフリー化の努力義務の対象として位置づけられました。これを受けまして文部科学省では、平成16年に学校施設バリアフリー化推進指針を策定しています。文部科学省では、学校設置者に対してこの指針を活用し、学校施設のバリアフリー化を着実かつ迅速に進めていただきたいと思いますとしております。市でもこの指針などを踏まえ、一中の大規模改造工事に併せエレベーターの設置を計画いたしました。

あと、エレベーターの維持管理費はどのくらいかということですが、1台当たり年間52万円程度かかっております。

あと、3番目の一般の生徒はエレベーターをふだんどのように利用しているかということですが、一般の生徒については教室の移動等については使用しないということになっております。病気だとか、けがとかその時には使っているというような状況です。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） すみません、先ほどの高橋委員の質問の中で大原幽学記念館の収蔵庫の面積でありますけれども、1階の部分だけしか申し上げませんでした。1階の部分の収蔵庫が121平方メートル、2階にもございまして2階が42平方メートルであります。

以上であります。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） いずれにしても、この間本会議で市長が答弁したように、最少の経費で最大の効果と、それとともにやはり均衡をもった計画の中でやっていただきたいと思います。

ます。

以上です。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

林晴道委員。

○委員（林 晴道） それでは数点お伺いをいたします。

まず、134ページ、135ページにある中で予防接種の関係でございますが、先ほどの説明の中でも言葉が集団接種と個別接種ということがありますが、僕が小学生とかのころにはだいたい集団接種だったんですよ。これなぜ個別と集団とかに分かれて、個別にした段階で漏れ等はしっかりと把握できているのか、どのくらい漏れがあるのか、この点にお伺いをいたします。

次に、141ページ、不法投棄の防止活動事業、この事業内容とどのくらいの効果を今までもたらしているのか、その点に関してお伺いをいたします。

あともう1点、141ページの説明欄の一番上段なんですが、車両購入費、これちょっと説明あったと思うんですけども、どのような車両で使い道のほう、もうちょっと詳しくお伺いしたいと思います。

続いて、246ページ、説明欄のほうにいきまして19の一番下、文化財保存事業補助金、これ目的のほうを教えてくださいたいんですよ。うちのほうでは水神社の永代大御神楽ですね、それで2万円をいただいているということは把握しているんですが、どういう目的で出ているのかをお伺いしたいと思います。

次に、267ページ、説明のほうの13委託料で一番下の測量ですね、この測量がなぜ今必要になって何か特殊なものだということをおっしゃっていたんですが、普通の測量とどのような違いがあるのかをお伺いいたします。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

健康管理課長。

○健康管理課長（加瀬幸重） それでは、現在集団接種と個別接種の方法があるということで、これにつきましても国の指導に基づいて現在では個別化が進められております。国の指導に基づきまして市のほうでも個別接種で進めているということでございます。

一部、子どもの接種でBCGと二種混合を集団で行っているということでありましたが、それにつきましては、BCGにつきましてもちょっと医師会との調整の関係がありまして、

これについては集団で行うこととしております。二種混合につきましては、これは対象が小学校6年生でございますので、各学校で集団接種をしたほうが合理的だということで、6年生ということで子ども大きくなっていますのでね、そういうことでこの2種類については集団接種で行っております。

そのほか、接種の漏れの把握とあとどのくらいあるのかというご質問でしたが、おおむね接種率のほうは90%以上接種しております。その後最終的に、例えば小学校6年生の二種混合でしたりしますと、最終的に学校で接種していなかった場合にはこちらから通知いたしまして、最後には保健センターのほうでもう一度機会を設けて集団で接種を行っている状況でございます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 環境課長。

○環境課長（浪川 昭） それでは、ただいまの林委員のご質問にお答えをさせていただきます。

まず、141ページの不法投棄防止活動事業、こちらの内容と効果というお話からお答えをさせていただきます。

こちらにつきましては、8の報奨金ですね、こちらにつきましては不法投棄監視員を26名お願いしてございますので、そちらの報奨金ということになります。また、こちらの方々には地区のパトロールとかそういったのをお願いしているところでございます。

また、1ページめくっていただきまして、13節のところ委託料というのがございますが、こちらで不法投棄防止パトロールということで、こちらは現状はシルバー人材センターに委託をしております週4回パトロールを実施していただいているところでございます。

あと、効果ということでございますが、こちらにつきましては現状といたしましては、ここ3年ぐらい、24年度、25年度、26年度ということで実績を見ますと、不法投棄の件数ですね、その辺は減ってきているという状況がございます。

それと、140ページ、こちらのほうの備品購入費の機械器具購入費ということでございますが、こちら市のほうの吸引車というのは、作業車両ですが、こちらがございまして、こちら昭和60年に購入したものですけれども、こちらのほうを買い替えさせていただくということで予算計上をさせていただいてございます。

こちらにつきましては、環境課のほうへ側溝清掃ですね、そちらのほうの要望がございましたときに、地元との共同作業とか、地元で側溝を清掃してもらったのを吸引に行くと、そ

ういうことで活用をさせていただくということになっております。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） それでは初めに、246ページの説明欄19負担金補助及び交付金の中の文化財保存事業補助金、これについての目的ということでございます。

この補助金につきましては、旭市文化財の保護に関する条例の中で、指定文化財についてはその保存及び活用のために必要な措置を定めるということが第1の趣旨でございます。それとともにこの条例の中で、管理または修理等の補助という項目がございます、基本的には管理または修理に要する経費は所有者の負担ということが前提でありますけれども、当該所有者等に対し予算の範囲内で補助金を交付することができるということの規定がございます。

以上であります。

すみません、それともう1点、267ページの説明欄13測量業務委託料583万2,000円でありまして、これにつきましては、初年度にヘリコプターを使用したレーザー測量ということで1000分の1に対応が可能な測量成果を電子化して次年度の根拠資料とするものでございます。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員。

○委員（林 晴道） それでは、質問をしますけれども、141ページで不法投棄の防止活動について伺いますが、26名の方に報酬だとか、パトロールをしているということでありまして、そういう活動は予防対策にもいいと思うんですけれども、実際その方々からそういうのを目撃したようだとか、そういうような不法投棄をしている現場を見た場合の対応なんかというのは、今まで事例があったのかどうなのか、その部分をお伺いしたいと思います。

それから車両の整備ですね、吸引車、これ僕、一般質問でも伺いまして、だいぶ古いんでしっかりと車両を整備していただいて、これからやっぱり夏にかけて側溝のにおい等が起こるので計画的にやっていただけないかということをお伺いして、発言をさせていただいております。常備どのぐらいの時間だとか、側溝の長さ、やるところがあるのか、それから新しい車両に整備した中でどの程度吸引車が活動する、吸引をする量ですか、ボリュームですかね、その辺を考えているのかをお伺いしたいと思います。

あとは、文化財の保存事業ですか、これ具体的にどういう文化財に対して、有形だとか無

形だとかありますけれども、僕は地元のしか分からないので、どういうところに対してお金を使っているのか、それをお伺いしたいのと、あとはうちのほうにいただいている永代大御神楽、こちらにいらっしゃる先輩方何人も来ていただいているとは思いますが、文化財の保護という側面とあとイベントという部分あるんですよ。結構小学生だとか見に来ていただく方々がいらしてね、イベントの部分を見ますと、やはり花火だとか七夕だとかそういうものに対しては相当大きい予算が措置されているんだなというふうに感じているので、その辺のところ検討いただけないものかお伺いをしたいと思います。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

環境課長。

○環境課長（浪川 昭） それでは、ただいまの質問2点ございました。

まず最初に、不法投棄のパトロールであるとか、監視員の活動の状況ということでお答えをさせていただきたいと思います。

まず、不法投棄監視員につきましては、こちら平成26年度の実績ということでございまして、監視回数は全体で354回監視をしていただいたところでございます。その中で目撃というか、発見の件数、こちらは39件ほどございました。また、不法投棄防止パトロールのほうにつきましては、監視回数は206回でございます。同じく発見の件数は16件ということで、こちらにつきましては基本的には不法投棄された原因者が特定できればこちらのほうに連絡をして処理をしてもらうと。

いずれにしてもこれ、民地に捨てられてしまったものは土地の所有者に処理をしていただくということになります。あと、道路上であるとかそういうものにつきましては、市のほうで回収をいたしまして処分をしているというところが現状でございます。

それと車両購入のほうの、これからどういうふうに使っていくのかというところでございますが、こちらにつきましては、過去3年間の平均、24年度、25年度、26年度になりますけれども、こちらで吸引車が出動しているというのは約70件ほどございます。その中で先ほど申し上げましたような協同作業とか、地元の側溝清掃後の汚泥の回収、また地元の方では対応のできない暗渠であるとか、集水ますであるとか、その辺をこの車両を活用しまして実施をしていくと、そういうふう考えております。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） それでは、246ページの文化財への補助金の関係でありますけれども、どういう文化財に対して補助をしているのかというような質問でございますけれども、全部で11団体に補助をしているところでありまして、その種類としましては、無形民俗文化財もありますし、天然記念物、あとは史跡、建造物、そういったものを合わせて11団体に補助をしているところであります。

それとあと、七夕とか花火ですか、そういったところに予算を費やしているということと文化財への補助金との関係でありますけれども、七夕とか花火につきましては、全市民を対象として行っているイベントであります。文化財につきましては特定の所有者等に対する補助ということですので、ひとつその辺でご理解をいただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員。

○委員（林 晴道） それでは最後2点ですかね、もう一度聞きたいんですけども、吸引車両、やはりどうしても高齢化が進んでおりまして、やっぱり地域でやっていたものができなくなったりだとか、どうしたらいいのか悩んでいる地区があるので、しっかりとこういう大きい金額で整備されるので活用していただきたいと。

ちなみにこれ、使いこなせる職員の方、使う方何人いるのかお伺いしたいと思います。いいもの買って使える人がいないのであればちょっと難しいのかなと思いますので。

それから、文化財のほうなんですけれども、僕言っているのと違うのは、後草の水神社の永代大御神楽は議会の広報紙でも1面を出しているように、旭市全体のほうのイベントで見てもらったほうがいいと思うんですよ。そういうような側面から、ちょっと先ほどお話ししたので、課が違うんであれでしょうけれども、教育長もいらっしゃいますので、しっかりと七夕だとかそういう行事ごとの一つとして捉えていただくことはできないのかなと。

やはりそれからあとは県だとか市の文化財、無形文化財等ありますが、何か差があるように感じるんですよ、もらっていないところ、もらうところ。金額にしてもちょっと差があるんで、その辺のところをもう一度研究をしていただきたいと、そういうふうに思いますのでよろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

環境課長。

○環境課長（浪川 昭） それでは、ただいまの質問でございますが、高齢化等々の問題とい

うことで地域でできないものがあると、その場合にはということですが、こちらにつきましては市のほうへ要望なり、申請が出た場合にいろいろ地元の区長なりと相談をさせていただきながら実情に合わせて対応していきたいと、そういうふうを考えております。

また、その車を使用できる人間はということですが、今環境課のほうに作業員が6名ほどおります。こちらは臨時職員ということなんですが、そちらのほうの職員がこれを使用しているということで、実際市の職員、環境課内の職員については、その車両を使って作業をするということはありません。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） それでは、水神社の神楽について、イベントとの共催等についてのご質問でありますけれども、時期的なものもありましてちょっとなかなか難しいのかなというふうに考えております。

あともう1点、補助金について差があるのではないかというようなお話でございますけれども、現在市内で神楽を実施しているところは水神社、鎌数神社、そして熊野神社、松沢にありますけれども、その3か所で行われております。そのうちで熊野神社につきましてはこういった補助金は交付しておりません。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 環境課長。

○環境課長（浪川 昭） すみません、先ほど臨時作業員のほう6名と申し上げましたが、申し訳ございません、7名の誤りでございました。訂正させていただきます。よろしく願います。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） ちょっと生涯学習課長にお尋ねしますが、今、林晴道委員の答弁に対して花火にも出しているという説明がありましたが、どういう花火に出しているのかお尋ねします。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） 今の花火につきましては、生涯学習課からではなくてほかの所管のほうから補助金が出ているという意味でございます。よろしく願います。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） じゃ分かりました。ちょっと今、課長がそういう答弁したものでね。そんな中で一つのイベントに対しては補助金というのは全て1か所から出ているのか、それは誰か分かりますかね。中には一つのイベントに対してこっちからも出す、こっちからも出すという予算もあるんですよ。ですから、そういう中で一つのイベントに対して補助金は全て、例えばどこの課で出すでもいいから1か所なのか、その辺分かれば答弁いただきたいと思います。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） 大変申し訳ございませんけども、生涯学習課のほうでは掌握しておりませんのでよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

佐久間茂樹委員。

○委員（佐久間茂樹） ご苦労さまです。1点だけお願いします。

249ページですか、生涯学習課なんですかね。先ほど説明で文化施設使用助成金を3割減らしたという話で、積立金が底をつきそうだという話がありました。その中で文化振興基金積立金1,000円というのはちょっと少ないのかなと。この積立金の文化振興基金の現状とこれから先の予定ですか、すぼめていくのかなと、そういうふうに感じちゃうものですかからお願いします。

○委員長（伊藤房代） 佐久間茂樹委員の質疑に対し、答弁を求めます。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（高木昭治） ただいまの質問でございます。249ページの説明欄3の積立金、文化振興基金の積立金が1,000円、これは額が少ないじゃないかというようなご質問でありますけれども、これにつきましては基金の利子、利息を見込んでおります。それで1,000円ということで計上してあるところでございます。

それとあと基金の現状ということでございますけれども、ご承知のとおり、今年度、有限会社ブライトピック、代表志澤勝様のほうから500万円の篤志寄附がございました。ということで、27年度末の基金の残高は550万円余りということを見込んでおります。そしてあとは平成28年度末の基金の残高でございますけれども、130万円余りを見込んでいますところでございます。

以上でございます。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第1号の質疑を終わります。

続いて、議案第2号について担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 議案第2号、平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決についての補足説明であります。本会議で補足説明したところであり、これに加えての補足説明はございません。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第2号の質疑を終わります。

続いて、議案第3号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 議案第3号、平成28年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決についての補足説明であります。本会議で補足説明したところであり、これに加えての補足説明はございません。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第3号の質疑を終わります。

続いて、議案第4号について担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） 議案第4号、平成28年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について補足説明を申し上げます。

介護保険事業特別会計予算につきましては、全員協議会及び本会議の補足説明においてご説明申し上げましたが、一部追加してご説明させていただきます。

予算書の374ページをお願いいたします。

ここに記載の表は、本年度と前年度の歳出予算額を比較したものでございます。2款の保険給付費ですが、これは要介護、要支援認定者が介護サービス等を受けた対価として支払うもので、対前年度2,509万4,000円、0.6%の増を見込みました。保険給付費の割合は、右側

の予算構成比にもございますように、歳出総額の95.2%を占めるものでございます。

介護認定者と介護サービスの利用状況を申し上げますと、平成28年1月末現在で認定者数は2,883人、平成27年12月末時点で介護サービスの利用者数は2,464人となっております。そのうち居宅サービス利用者が1,813人、施設サービス利用者が651人となっているものでございます。

続きまして、378ページをお願いいたします。

歳入の6款繰入金、2項1目、説明欄1の介護保険給付費準備基金繰入金の242万2,000円ですが、歳出に対する歳入の不足額を基金から繰り入れるものでございます。これは平成27年度から29年度までを計画期間といたします第6期介護保険事業計画の策定におきまして、3年間の新たな保険料を設定するに当たり、保険料の上昇を抑制し、第1号被保険者の負担の軽減を図るため介護保険給付費準備基金を取り崩して財源に充てるものでございます。事業計画の2年目となります平成28年度は、242万2,000円の取り崩しを予定するものでございます。

以上で、補足説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 担当課の説明は終わりました。

議案第4号について質疑がありましたらお願いいたします。

高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） 歳入についてお尋ねします。

税とかこういう保険料につきましては、納付期限後という一言がありますね。納付期限後については強制的な徴収の方法があるわけですよ。そういう一言ありますよね、納付期限後とはということで。そんな中でこういうふうな徴収率がかなり悪いわけですが、それはどういうふうに対応しているのかお尋ねします。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） ただいまの高橋委員の質問にお答えいたします。

まず、徴収率の関係なんですけど、まず特別徴収の方がこれにつきましては年金等から直接収入になりますので、徴収率は100%となります。それから普通徴収の方なんですけど、これについては全体の1割ほどの方が該当するわけなんですけど、ある程度未納になりますと、もちろんペナルティといいますか、1割負担が3割負担になるということも告げまして、なおかつ滞納していきますとその方に対して預金調査等ございまして、実際に預金の差し押さえ

等を行って徴収を行っているということでご理解をいただきたいと思います。よろしく願いします。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） いずれにしても、徴収率が落ちるということは、今度は真面目に納めている人、この方々に負担がかかってくるわけなんですよね。そういう中で、ですから具体的に、じゃ納付期限後どういうふうに対応しているのか。すぐ差し押さえますとか何とかこういうことをやっているのか。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） ただいまのご質問にお答えいたします。

まず、滞納して期限を超えた場合なんですが、まず督促状を出して、その後催告書を出して、なおかつ電話催告、もちろん夜間の電話催告等も行います。それで実際それでも駄目な場合は、先ほど私が言ったように預金調査等を実施いたしまして、ある方については差し押さえて収納するというのでやっておりますのでご理解よろしく願いいたします。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第4号の質疑を終わります。

続いて、議案第9号中の所管事項について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長（加瀬恭史） それでは、議案第9号、一般会計補正予算の議決について補足説明申し上げます。

補正予算書の16ページ、17ページをお願いいたします。

初めに、歳出からご説明いたします。

3款1項1目説明欄1の臨時福祉給付金給付事業2億1,196万9,000円ですが、平成28年度も引き続き給付することが国において決定したところであります。28年度には前半と後半の2回に分けて支給します。前半は平成27年度の補正でお願いするものであります。今回のこのものでございます。

平成27年度の市民税均等割非課税者で、平成28年度中に65歳以上になる高齢者が対象になります。納付額は1人当たり3万円となり、対象者は6,700人を見込みまして、説明欄1の19、給付金の支給総額は2億100万円となります。

なお、事務費につきましては1,096万9,000円を見込みまして、臨時福祉給付金給付事業総額は2億1,196万9,000円となります。

次に、歳入ですが、11ページに戻っていただきたいと思えます。

13款2項2目1節社会福祉費国庫補助金2億1,196万9,000円は、給付金及び事務費の総額となりますが、国庫で全額賄われます。

6ページをお願いいたします。

第2表繰越明許費補正でございます。

3款1項社会福祉費臨時福祉給付金給付事業2億991万7,000円ですが、給付金の支給が28年度になることから事務費の一部、27年度執行分を除きまして給付金の全額に当たります、を繰り越すものでございます。

以上で、議案第9号、社会福祉課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち、保険年金課所管の補足説明を申し上げます。

補正予算書の11ページをお開きください。

歳入になります。

13款1項1目民生費国庫負担金4,824万2,000円の追加は、1節社会福祉費国庫負担金の説明欄1、保険基盤安定負担金の増で、国の施策による保険基盤安定の拡充による保険者支援分であります。

次に、12ページをお願いいたします。

14款1項1目民生費県負担金1,289万円の追加は、1節社会福祉費県負担金の説明欄1、保険基盤安定負担金の増で、これも国の施策による保険基盤安定の拡充によるものであります。

次に、17ページをお願いいたします。

歳出になります。

3款1項4目国民健康保険費1億4,958万4,000円の追加は、説明欄1、国民健康保険事業特別会計繰出金の増で、法定分の国保保険基盤安定保険税軽減分繰出金1,497万5,000円の減、保険者支援分繰出金9,648万3,000円の増及び財政安定化支援事業繰出金1,692万4,000円を減額するものであります。

財政安定化支援事業繰出金の減額の主な理由は、保険基盤安定負担金の拡充により算定方

法の見直しがあり減額となったものであります。

その他繰出金は、保険給付費の増による国保会計への補填のため8,500万円を追加するものであります。

以上で、議案第9号、保険年金課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について、子育て支援課所管の補足説明を申し上げます。

補正予算書の18ページをお開きください。

歳出から説明いたします。

3款3項6目、説明欄2の保育士配置改善事業883万円ですが、議案質疑でも申し上げましたように、この事業は民間の認可保育所において、保育士定数を超えて予備的に配置された保育士の設置費用について、1名に限り基準額の範囲で補助をするものです。

内容ですが、基本分として予備的な保育士1名の配置について、4施設で785万3,580円、特定乳幼児受け入れ分として生後3か月未満の乳児や障害のある児童の受け入れのための保育士1名の配置について、2施設で97万5,600円を見込んでおります。

この事業は千葉県の補助事業で、本年2月に補助金交付要綱が制定されたため補正予算でお願いするものでございます。

財源ですが、補正予算書の12ページをお開きください。

14款2項1目3節児童福祉費県補助金、説明欄1、保育士配置改善事業費補助金になります。先ほど申し上げました基本分について補助率2分の1、特定乳幼児受け入れ分につきまして補助率3分の1、合わせまして425万1,000円の県補助金を見込んでおります。

以上で、第9号、子育て支援課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 庶務課長。

○庶務課長（角田和夫） 議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち、庶務課所管の補足説明を申し上げます。

補正予算は中学校大規模改造事業でありまして、第一中学校の校舎大規模改造工事で、当初国の補助金が不採択になったことにより年度内に着手することができませんでしたので、歳入、歳出の減額補正と債務負担行為の廃止及び地方債を変更させていただくものです。

なお、この本事業費は、改めて平成28年度予算に計上させていただきました。また、国の国庫補助金についても2月末に採択の内示をいただいたところです。

それでは、歳出からご説明いたします。

補正予算書の20ページをお開きください。

10款3項1目学校管理費、説明欄1の中学校大規模改造事業の1億6,451万6,000円の減は、第一中学校の校舎大規模改造工事の事業費で、全額減額補正させていただくものです。

次に、戻りまして補正予算書の12ページをお開きください。

歳入についてご説明いたします。

13款2項5目教育費国庫補助金、説明欄1の学校施設環境改善交付金の4,965万円の減は、第一中学校の校舎大規模改造工事の補助金で全額減額補正させていただくものです。

以上で、議案第9号、庶務課所管の補足説明を終わります。

○委員長（伊藤房代） 担当課の説明は終わりました。

議案第9号について質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第9号の質疑を終わります。

議案の審査は途中でありますが、昼食のため午後1時半まで休憩いたします。

休憩 午前11時57分

再開 午後1時30分

○委員長（伊藤房代） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の審査を行います。

続いて、議案第10号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 議案第10号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決についての補足説明ではありますが、本会議で補足説明したところであり、これに加えての補足説明はございません。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第10号の質疑を終わります。

続いて、議案第32号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 議案第32号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定については、本会議で補足説明を申し上げたとおりでございます。よろしく願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

林晴道委員。

○委員（林 晴道） すみません、この説明の中で地元から何か話、要望があったということなんですけれども、具体的にどういうものなのか。それで、これなくなることによってあと残り幾つ施設があって、残り施設は幾つ残っているのかお伺いしたいと思います。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） それでは、ただいまのご質問につきまして回答申し上げます。

まず、地元区からの要望ですが、書面で児童遊園の廃止についてということで、遊具施設の老朽化に加えて、近年地域児童の減少で利用が少なくなっているというような理由から児童遊園の廃止を要望いたしますということで、区長名で上永井区、江ヶ崎区、それぞれ書面で要望書を頂戴したところでございます。

あと、児童遊園ですが、この2か所廃止になりますと残りが36か所でございます。

もう1つ、児童遊園ではないんですが、子どもの遊び場ということで1か所、椎名内子ども遊び場、こちらのほうは児童遊園ではないんですが同じような取り扱いをしている施設がございまして、それを含めると37か所ございます。

今後の児童遊園の管理につきましては、また新年度区の役員も代わりますので、時期を見て今後の児童遊園の計画について要望等、アンケート等をやりたいなというふうに考えております。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

木内欽市委員。

○委員（木内欽市） 今同じような質問で、この児童遊園は今ほとんど、町場は分からないけれども、ほとんど使わないですね。もう何年も使わない。子どもたち夕方遊んでいるなんてことまず見たことないんですよ。うちのほうもそうなんです、これやるときに相当補助金いただいているんです、これね。

ですから、この後もこういうこともちょっと頭に入れておいていただけたらいいなと。補

助金をいただいたときにも、何でもこういうところに補助金いっぱいつけてくれちゃうのかなと思って、時代の時代ですけれども、今全然使っていない児童園は結構ありますよね。把握していますか。

○委員長（伊藤房代） 木内欽市委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） ご質問ですが、おっしゃるように昭和40年代、50年代遊び場がない、車の通行量とかも増えてなかなか子どもの遊び場がないということで、その当時急激にといいますか、整備がされました。

現状におきましては、テレビゲーム等も子どもの間で盛んになっておりまして、以前に比べればおっしゃるとおり、利用する子どもの数というのは減少しております。

この児童遊園の管理につきましては、地元区に金額は少ないんですけども委託料という形で年間2万円程度を委託料という形でお渡ししまして、遊具の点検ですとか管理をいただいております。

全く利用がないかというところまでは、申し訳ないんですがちょっと承知しておりませんで、利用が減少していることは重々承知しております。すみません、お答えになりませんで。

○委員長（伊藤房代） 木内欽市委員。

○委員（木内欽市） これもね、ですからうちのをちょっと見たら、ブランコの鎖ですか、あれがもう本当に減っちゃってさびて、あれ人が乗っていたらもう壊れちゃうんじゃないかという、そういうかえって危険なときもあったので使用禁止にしたところがあるんですね。もしもそういう場合にけがとか何かあった場合には責任というのはどういうふうになるのかね、区になるのかね、それとも分かりますかね。

○委員長（伊藤房代） 木内欽市委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 点検をいただいている中で危険な箇所等について、あるいは修理が必要な箇所については子育て支援課のほうに連絡をいただきまして修理をする、それまで使用が危険な場合は使用禁止というような形で処理をさせていただいております。

最終的には、その事故の状況によって異なってくるものであろうとは思いますが、区にお願いしている管理の部分というのは金額も少額でありますし、最終的には設置者という形で責任が生じるのかなというふうに考えておりますが、個々の事例で変わってくるのかなというふうにも思います。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） ちょっとお尋ねしますが、萬歳公園というのはこの児童公園に入るんですか。そういう中で萬歳公園の管理に関して、たしか土地の賃借料は国調をやった新しい面積で払っているわけですよ。しかし、結局土地所有者からの税金は旧面積だと。そういう中でこれは現状どういうふうになっているのかお尋ねします。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） ただいまのご質問ですが、児童遊園としてこちらで管理しておりますのが、干潟地区におきましては関戸児童遊園と中3区児童遊園、2か所でございます。ご質問の萬歳公園はちょっとこちらの所管でないものですから、申し訳ないんですがちょっと分かりません。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） じゃ委員長、ちょっとね、この関係とは若干違いますがよろしいですか。

○委員長（伊藤房代） はい。

○委員（高橋利彦） じゃこれは萬歳公園はどこで管理しているのか分かりませんが、その辺分かりましたらお答えいただきたいと思います。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 都市整備課だと承知しております。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第32号の質疑を終わります。

続いて、議案第33号について、担当課より補足して説明がありましたらよろしく願いいたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 議案第33号、旭市出産祝金支給条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、こちらにつきましても本会議で補足説明を申し上げたとおりでございます。よろしく願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

林晴道委員。

○委員（林 晴道） 第3子ということで、僕からしたら第1子も果てしなく遠い環境なんです。すが、だいたいどのくらいの数、直近でも第3子が生まれている旭市内の状況等が分かりましたらお伺いをいたしたいと思います。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 平成27年度の本事業の支給状況で申し上げますと、第3子の出産祝金が89名支給対象となる見込みでございます。この祝金には滞納がない等の支給要件がございまして、現在こちらの条件から外れている方が2名ございまして、平成27年度ですと第3子、こちらで確認できるのは支給した89名と対象外となった2名、合わせて91名というふうに承知しております。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員。

○委員（林 晴道） それでは、第1子と第2子で金額の違いがあるんですが、この金額の違いに対してはいかがなものなのかお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 林晴道委員の質疑に対し、答弁を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（大矢 淳） 今回、第2子について10万円というものを、新たに第2子を対象として10万円とすると。従前は第3子に対して20万円、今回半額ということで予定しております。第2子の出生率が第1子、第3子に比べて急激に低下しているというような第2子の壁というようなことも言われておりますけれども、経済的な支援以外にやはり父親の育児参加等いろいろな問題はありますけれども、第2子の出生率が低下しているという中の危機感の中で少しでも第2子出産のきっかけになってくれればというような願いで第2子を対象としたと。

金額につきましては、第3子の半額ということで設定させていただきました。

○委員長（伊藤房代） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第33号の質疑を終わります。

続いて、議案第34号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） 議案第34号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定

につきましては、本会議でご説明したとおりでございますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第34号の質疑を終わります。

続いて、議案第35号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

高齢者福祉課長。

○高齢者福祉課長（宮内 隆） 議案第35号、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、本会議でご説明したとおりでございますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようですので、議案第35号の質疑を終わります。

続いて、議案第37号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。

○環境課長（浪川 昭） 議案第37号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について補足説明を申し上げます。

本議案につきましては、本会議におきましてご説明を申し上げたとおりでございますが、条例の一部改正に伴いまして、関連する旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例施行規則についても一部改正を行いますので、主な改正内容について2点ご説明を申し上げます。

初めに、許可の申請に必要な添付書類のうち、小規模埋め立て等の区域周辺の居住者及び農業用施設等の所有者の承諾についてであります。現在はその対象範囲を小規模埋め立て等の区域から周囲200メートル以内としております。これを周囲300メートル以内と範囲を拡大するものでございます。

次に、地質検査を実施する場合の検査項目についてであります。現状規則で検査項目を定めております。これに水素イオン濃度の項目を加えるものであります。

なお、条例及び規則の改正内容につきましては、広報紙及び市のホームページ等で広く周知を図ってまいります。

以上で、議案第37号の補足説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（伊藤房代） 担当課の説明は終わりました。

議案第37号について質疑がありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

○委員長(伊藤房代) 特にないようですので、議案第37号の質疑を終わります。

続いて、議案第38号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。
体育振興課長。

○体育振興課長(加瀬英志) 議案第38号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてですが、本会議でご説明したとおりですので特にございません。よろしく申し上げます。

○委員長(伊藤房代) 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

○委員長(伊藤房代) 特にないようですので、議案第38号の質疑を終わります。

続いて、議案第41号について、担当課より補足して説明がありましたらお願いいたします。
庶務課長。

○庶務課長(角田和夫) 議案第41号、旭市学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定については、本会議でご説明したとおりですので特にございません。よろしく申し上げます。

○委員長(伊藤房代) 特にないようですので、質疑がありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

○委員長(伊藤房代) 特にないようですので、議案第41号の質疑を終わります。

以上で、付託議案についての質疑は終わりました。

議案の採決

○委員長(伊藤房代) これより討論を省略して議案の採決をいたします。

議案第1号、平成28年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長(伊藤房代) 全員賛成。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号、平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について賛成の方の起

立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号、平成28年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

議案第4号、平成28年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

議案第9号、平成27年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

議案第10号、平成27年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

議案第32号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

議案第33号、旭市出産祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立

を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

議案第34号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

議案第35号、旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第35号は原案のとおり可決されました。

議案第37号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

議案第38号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

議案第41号、旭市学校建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○委員長（伊藤房代） 全員賛成。

よって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(伊藤房代) ご異議ないようでございますので、委員長報告は委員長一任とさせていただきます。

所管事項の報告

○委員長(伊藤房代) 次に、所管事項の報告に入ります。

報告がある所管課は、随時報告をしてください。

病院経理課長。

○病院経理課長(土師 学) それでは、ご報告申し上げます。

平成27年第3回定例会で議決いただきました平成27年度旭市病院事業会計補正予算(第1号)のうち、企業債繰り上げ償還補償金に係るご報告を申し上げます。

10項1目でその他特別損失7億9,500万円のうち企業債繰り上げ償還補償金として6億2,000万円を計上いたしました。

お手元にご配付させていただいております別紙の報告資料をご覧ください。

この繰り上げ償還の内訳でございますが、平成21年度の借り入れ分で①と記載してございます当初借入額は11億1,900万円、これは地方公共団体金融機構からの借り入れでございますが、それと②当初借入額が26億3,100万円、財務省からの借り入れ分でございます。

ご覧の①と②でございますが、繰り上げ償還はその返済期日が別途定められておりまして、左から3行目繰り上げ償還日でございますが、①の地方公共団体金融機構分は12月21日に補償金額1億5,774万円、これはここに記載してございます当初見積もり額が、これは予算計上前に借り入れ先と交渉したときの金額でございますが、当初の見積もり額は1億5,200万円、昨年9月の補正予算のときは2億200万円でございますが、これは償還のほうをいたしました。

②のほうの財務省分につきましては、28年3月1日に繰り上げ償還する予定で申し込みのほうは終了してございましたが、1月29日に日銀政策会議で発表されましたマイナス金利政策によりまして償還補償金の算定基準となる超長期国債の利回りが、ご存じのとおり大幅に

低下いたしました。

2月8日がこの部分、②のほうの補償金の算定基準日でしたが、補償金額は当初見積もり額の3億6,400万円、予算額の4億1,800万円を大幅に上回る5億900万円となり、特別損失の予算額をオーバーすることから今回の繰り上げ償還は執行しないという形で今回してございます。

また、今後につきましては、長期金利の動向を見きわめながら、市のほうと相談、検討していきたいというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（伊藤房代） 社会福祉課長。

○社会福祉課長（加瀬恭史） それでは、社会福祉課より1点ご報告させていただきます。

あじさい工房不正請求による詐欺事件の経過について報告いたします。

NPO法人手をつなぐ育成会の元代表者が平成27年6月2日に逮捕され、6月23日に起訴されました。その後8月11日に第1回公判が千葉地方裁判所八日市場支部において行われ、10月5日には第3回の公判があり、判決は懲役2年4か月の実刑を言い渡されました。

弁護側は、東京高等裁判所に控訴し、平成28年1月22日に第1回公判があり、続いて2月19日に判決が言い渡されました。判決は懲役2年でありました。

判決理由は、千葉地裁では、市が振り込んだ総額4,204万円をもって詐欺罪としましたが、高等裁では、水増し分1,217万円にのみ詐欺罪が成立すると認定されました。被害金額の一部を返済したとしてもその責任は重大であり、判決のとおり言い渡されました。その後控訴はされず、3月4日に刑が確定いたしました。

なお、損害賠償金につきましては、12月定例会で報告したとおりであります。8月18日に249万8,883円と12月2日に200万円の納付があり、被害総額の残額ですが1,470万280円あります。

以上、ご報告いたします。

○委員長（伊藤房代） 保険年金課長。

○保険年金課長（渡邊 満） 保険年金課から、今年度策定が進められている旭市国民健康保険保健事業実施計画、データヘルス計画について、資料はお配りしていませんが報告させていただきます。

計画の背景、趣旨でございますが、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等の電子化の整備の進展、国保データベースシステム等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を

活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでおり、日本再興戦略において各保険者にデータヘルス計画の作成、展開が求められています。

こうした中、旭市においても旭市国民健康保険保健事業実施計画を策定し、効果的かつ効率的な保健事業を展開することで被保険者の健康の保持増進を図ることを目的とするものであります。

計画の位置づけ及び期間でございますが、旭市健康増進計画を補完し、他の計画との整合性を図るものであり、計画の期間は第2期特定健康診査等実施計画の最終年度と整合をとり、平成29年度までとするものであります。

現在の進捗状況でございますが、素案につきまして旭市国民健康保険運営協議会でご審議をいただき、パブリックコメントを経たところであります。

議員の皆様には後日お配りしたいと考えております。

保険年金課からの報告は以上でございます。

○委員長（伊藤房代） 庶務課長。

○庶務課長（角田和夫） 資料はありませんが、庶務課より防災機能強化事業及び旧飯岡中学校解体工事の進捗状況について申し上げます。

初めに、本年度計画しておりました琴田小、中和小学校防災機能強化工事については、老朽化による改修と天井材の落下防止を目的に工事を実施し、2月末完了いたしました。そして27年度に前倒しの採択を受けました嚶鳴小と飯岡小学校防災機能強化工事についても3月8日に契約し、着手しました。工期は8月末となっております。

次に、旧飯岡中学校解体工事についてですが、現在校舎内部の解体がほぼ完了し、建物本体の解体に入っております。なお、工期については繰越明許を承認いただきましたので5月末まで変更させていただきました。

以上で、庶務課からの報告を終わります。

○委員長（伊藤房代） 体育振興課長。

○体育振興課長（加瀬英志） 資料はありませんけれども、体育振興課より施設関係について2点報告いたします。

1つ目は、飯岡地区の体育施設の夏の間、夏季期間の利用に対する予約期間延長の試行について報告いたします。さらなるスポーツの交流と観光の振興を図るため、飯岡地区の体育館及び隣接する野球場と庭球場の3施設、こちらの利用予約について7月から9月までの期間に限り、市内の民間宿泊施設からの申し込みを1か月前倒しし、通常は2か月前予約とな

っているところを3か月前から実施できるようにするものです。

また、周知については、商工観光課の協力のもと市内民間宿泊施設にチラシ等の配布で対応する予定であります。

2つ目は、旧飯岡中学校で利用しておりました飯岡児童体育館並びに旧飯岡中の西側のグラウンド、野球場及びサッカー場です。こちらについては4月よりスポーツ施設として開放いたします。こちらの周知については市のホームページ等でお知らせする予定です。

以上で、体育振興課の報告を終わります。

○委員長（伊藤房代） 担当課の報告は終わりました。

それでは、ただいまの報告について何かお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

佐久間茂樹委員。

○委員（佐久間茂樹） ご苦労さまです。9月の定例会で私、反対討論をさせていただいた件だと思うんですけども、これ36億4,000万円と4億1,800万円が未執行ですよ。ということは、約41億円くらいのお金が年度末、3月末で多分残るんだろうと思うんですけども、独法化で年間幾らでしたかね、5億円ですか、15億円くらいの長期借入金の予定が、計画が出されています。これとの関係をちょっと、かなりお金が残るんじゃないのかなと思うんですけども。

○委員長（伊藤房代） 佐久間茂樹委員の質問に対し、答弁を求めます。

病院経理課長。

○病院経理課長（土師 学） 委員のおっしゃるとおり、手元の現金は残ります。ですので、当初の予定では独法移行のときに現金が約60億円という予想でございましたが、おおむね多分100億円ぐらいになるろうというふうに考えてございます。

それで、今までも手元にご存じのように現金80億円から100億円ぐらいは手元現金は持っただございました。その中でも今までもご指摘ありましたとおり、企業債につきましては交付税算入になる、あるいは元金を分割して返せるメリット等々がございますので借り入れをしていたところでございます。

ですので、その辺の考え方につきましては、独法移行後も特に考え方は変えることなく、交付税算入になるものにつきましては今後も企業債を使えるものについては使っていきたいというふうに考えております。

○委員長（伊藤房代） ほかにございませんか。

高橋利彦委員。

○委員（高橋利彦） 中央病院にお伺いします。

中央病院の皆さんと議場で会えるのは今回が最後です。そこで、せっかくの機会でございますので、飯塚部長にお伺いしたいと思います。

飯塚部長、病院経歴が長い中でこの2年間、中央病院について感じたこと、また思ったことを客観的に伺いたいと思います。

○委員長（伊藤房代） 高橋利彦委員に対し、答弁を求めます。

病院事務部長。

○病院事務部長（飯塚正志） 高橋委員のご質問にお答えします。

本当に2年間ですけれどもいろいろとお世話になりました。旭中央病院、やはり都市部にあるというわけではないので、どうしてもお子さんが中学校ぐらいになる中堅どころの先生方がやはり少ないと。ですから、医師の構成から見てもだいたい各年代同じぐらいずつ、ですから続くみたいな感じの医者構成になっているんじゃないかなと。ですから、50代が四・五十人、40代がまた四・五十人、若手が100人ぐらいで、ですから20代、30代で100人ぐらい、あと50人、50人という感じで残りが研修医とそんな感じになっているので、非常に医師を集める上ではやはりなかなか不利かなと。

ただ、その中でもよく事業管理者等がいろいろ頑張って、総務人事課長の河北課長なども頑張った結果、何とか医師を集めていますけれども、その辺は非常にこれからも医師の確保については苦勞することは間違いないだろうなとは思っています。

それからあと、医師というわけではないですけれども、やはり多分東大の附属病院みたいな、ああいう紹介状がわんさか来てそれで1日3,000人来る病院というのはあるかと思うんですけれども、逆に言うと紹介率が30%超えたぐらいの病院で1日2,500人から外来患者が来るというのはちょっと聞いたことがない。ですから、多分ほかの病院の人たちも来て初めて、何だこれはというようなイメージになっていると思うんですよね。

ですから、そういう面で先生方も相当忙しいということで、これは別に悪いとかいいとかじゃないんですけれども、もう少し余裕があればさらにいろんな技術の取得ですとか、それから資格の取得などができるかもしれませんですね。ちょっとやはり忙しくてなかなか、件数が多いというのは先生方にとっては腕を磨く一つのすばらしいチャンスにはなるんですけれども、やはり外でいろんな形で出かけていって研修をしたり、勉強したりするという機会も逆に言うと少し減るということにもなりますから、そういう面で経験値は高いけれども先

進的なものとかいうのは、治験ですとか、そういうものが非常にちょっと弱いのかなと、そんな感じはしますね。

でも、都市部から比べてこれだけ大きな病院を60年間黒字ということでやってきたというのは、やはり病院の力、それから地域の住民の方々がいろいろな形で支えてくれているということで、市長がよく地域の宝だというふうに申しておりますけれども、旭市だけではなく東総地区全体で本来支えていかなければいけないものではないかなと思っております。ちょっと拙い感想ですけれども、ありがとうございました。

○委員長（伊藤房代） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（伊藤房代） 特にないようでございますので、所管事項の報告を終わります。

○委員長（伊藤房代） ここで執行部は退室してください。

大変ご苦労さまでございました。

しばらく休憩いたします。

休憩 午後 2時 9分

再開 午後 2時10分

○委員長（伊藤房代） 休憩前に引き続き会議を開きます。

閉会中の所管事務調査申出書の件

○委員長（伊藤房代） 私のほうより1点ご協議をお願いいたします。

案件ですが、当委員会の行政視察等における手続きについてであります。お手元に配付いたしました申出書案をご覧くださいと思います。

委員会の行政視察については、本委員会において、委員会の閉会中の継続審査とする旨の

議決をいただく必要がございます。については、閉会中でも委員会の継続審査として行政視察が実施できるよう議長に申し出を行い、本会議で所要の手続きをお願いするものでございます。

調査事項については、地方自治法第109条第2項で規定されております。常任委員会の部門に属する事務に関する事項とされるもので、2枚目になりますが、委員会条例第2条の別表の所管事務となるものであります。

それでは、この申出書を議長に提出したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(伊藤房代) ご異議ないようでございますので、そのようにさせていただきます。
平野議長、よろしくお願ひいたします。

○委員長(伊藤房代) 以上で、審査は全部終了いたしました。

これにて本委員会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。ありがとうございました。

閉会 午後 2時13分

旭市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

旭市議会文教福祉常任委員会委員長 伊藤 房 代